



平成26年度水道技術管理者資格取得講習会（福岡会場：11月11日～12月2日）

水道法施行規則第14条第3号による厚生労働大臣の指定する登録機関として、87名の参加を得て、福岡市水道技術研修所にて、「水道行政」、「公衆衛生・衛生管理」、「水道経営」、「水道基礎工学概論」、「水質管理」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汙過設備を有する水道施設において、15日間以上の実務講習を行う。

平成26年度水道技術者研修会（Aコース：11月11日～21日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々58名の参加を得て、「水道技術の現状と課題」、「水道計画」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「浄水処理（高度浄水処理を含む）」、「浄水場見学（埼玉県企業局新三郷浄水場）」、「浄水施設」、「漏水防止実習」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理（I）概論」、「水質管理（II）実務」、「給水装置」について研修を実施した。

平成26年度浄水場等設備技術実務研修会（大阪会場：11月11日～14日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々8名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプ実流試験装置を使った実習等、機器類の運転・操作を体験するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第688回抄録委員会（11月14日）

本誌1月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議した。

第933回会誌編集委員会（11月17日）

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

なお、平成26年度全国会議（水道研究発表会）において、座長より推薦のあった発表の水道協会雑誌への投稿について審議した。

第93回水道 GLP 認定委員会（11月18日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として仙台市水道局（認定番号：JWWA-GLP016）、（一財）岐阜県公衆衛生検査センター（認定番号：JWWA-GLP024）、（株）環境保全コンサルタント（認定番号：JWWA-GLP068）が、認定維持検査機関として環境未来（株）（認定番号：JWWA-GLP092）が、それぞれ審議され決定された。

第35回認証制度運営委員会（11月19日）

はじめに、4月の人事異動により副委員長が不在となったことから、「副委員長の互選」を行い、大寺神戸市水道局経営企画部長が選任された。

その後、「第34回認証制度運営委員会議事録」、「品質認証センターの登録件数及び収入」、「第35回認証審査委員会審議結果」、「水道事業者への認証事業等のPR」等について報告し、了承された。

続いて、議案「各種規定の改正」について、「JWWA-H104品質認証組織規則」ほか3規則、6要綱の改正について審議し、承認された。



第178回工務常設調査委員会（11月20日）

JWWA 規格の改正について審議したほか、ISO/TC224上下水道関連国際標準化の動向、水道維持管理指針改訂の経過、平成26年度全国会議の実施等について事務局より報告を行った。



平成26年度浄水場等設備技術実務研修会（第7回：11月25日～28日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

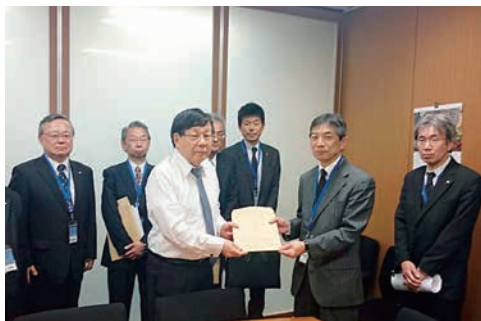
第3回運営会議（11月27日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「平成26年度全国会議（名古屋市）」、報告事項2「平成26年度日本水道協会全国会議における国際イベント」、報告事項3「国による自然環境の維持・回復に係る財源確保のための税制改正要望」、報告事項4「上水道関係予算の陳情活動」、報告事項5「国民に対するスポット広告」について、それぞれ事務局から報告があった。

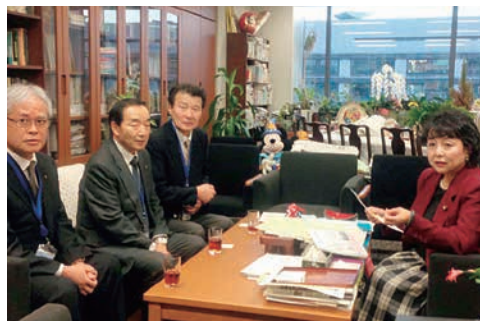


続いて第1号議案「日本水道協会第85回総会会員提出問題等の処理」、第2号議案「日本水道協会平成27年度全国会議の開催期日及び会場」の2件が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

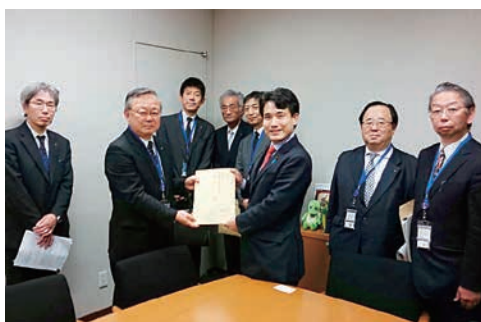
会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席委員全員により主要国会議員及び関係各省に対し陳情を行った。



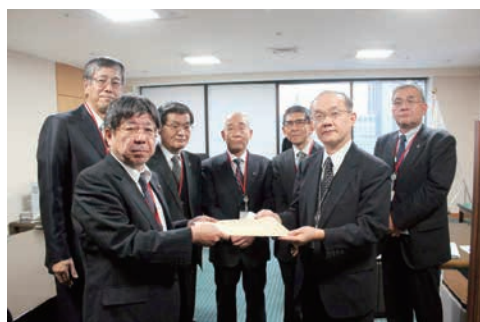
木村義雄参議院議員
（参議院厚生労働委員会委員）への陳情



猪口邦子参議院議員
（自由民主党政務調査会副会長）への陳情



滝波宏文参議院議員
（自由民主党水道事業促進議員連盟）への陳情



厚生労働省 蒲原基道官房長への陳情



総務省 大石利雄事務次官への陳情

第164回水質試験方法等調査専門委員会（12月1日）

最近の水道行政に関し、①来年4月施行予定のジクロロ酢酸及びトリクロロ酢酸に係る水質基準の改正等、②フェノール類の検査方法追加、及び③検査方法告示の一部改正案（標準原液の規定等）へのパブリックコメント、④検査方法が示されていない農薬の検査方法についてのバリデーション等の報告があった。

その後、各部会に分かれて懸案事項について検討を行った。

平成26年度水道技術者研修会（Bコース：12月1日～12日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々77名の参加を得て、「水道技術の現状と課題」、「水道計画」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「浄水施設」、「浄水処理（高度浄水処理を含む）」、「浄水場見学（埼玉県企業局新三郷浄水場）」、「電気設備」、「計装設備」、「漏水防止実習」、「水質管理（概論・浄水処理）」、「水質管理（送・配水）」、「機械設備」、「給水装置」について研修を実施し、最終日には自由討議を行った。

第20回営業業務専門委員会（12月3日）

はじめに、審議事項1「『営業業務マニュアル 営業業務に関するQ&A』追補版の発行について」を審議し、追補版発行を決定した後、審議事項2として「『営業業務マニュアル 営業業務に関するQ&A』追補版に掲載する内容について」を審議し、主に質問項目について原案のとおり決定した。

次に、情報交換事項として、「①営業業務の委託拡大と複数業務の一括委託について」、「②共同住宅における各戸検針及び各戸徴収サービスについて」、「③給水区域内に転居した水道料金滞納者への対応について」、「④空気



の混入による水道メーターの脈動（回転）への対応について」、「⑤水道使用開始及び使用中の電話受付について」、「⑥水道料金等の遅延損害金（延滞金）・還付加算金の取扱いについて」について、それぞれ活発な意見・情報交換が行われた。

その他として、「民法（債権関係）の改正の経緯、改正検討の現状及び今後の改正の見通しについて」事務局より情報提供を行った。

第689回抄録委員会（12月8日）

委員の水道に関する知識の向上を目的として、国立保健医療科学院（水管理研究領域）の水道関連実験施設を見学した。

